

1986年

1. 原著論文

- ・ 宗像恒次,仲尾唯治,藤田和夫,諏訪茂樹:都市住民のストレスと精神健康度.精神衛生研究,32:49-68.1986
- ・ 宗像恒次:病気の心理社会因と保健行動.日本保険医療行動科学会年報,1:15-34.1986
- ・ 宗像恒次:「つきあい」とライフサイクル別にみる心身の健康. Health Sciences(日本健康科学会誌).2(2):30-37.1986
- ・ 宗像恒次:文化とストレス対処行動—社会学の立場から,ストレスと人間科学(日本ストレス学会誌)1:159-170.1986
- ・ 宗像恒次,稲岡文昭,川野雅資.:看護者の Burnout と社会的環境及び行動特性との関連についての研究.日本看護科学学会誌.6(3):50-60.1986
- ・ Munakata.T: Sociocultural Background of the Mental Health System in Japan. Culture, Medicine and Psychiatry.10(4).1986

2.その他の論文

- ・ 宗像恒次:テレビと子どもの精神保健.教育と医学,34(9):57-64.1986
- ・ 宗像恒次:コンプライアンス—健康指示の受け止め方.メディカル・ヒューマニティ,3 :57-63.1986
- ・ 宗像恒次:リアリティショック—精神衛生学の視点から—,看護展望,11(6):2-7.1986
- ・ 宗像恒次:日本人の健康意識.ジュリスト増刊総合特集,44:30-35.1986

3.著書

- ・ 宗像恒次:「ぼけと看護」中島紀恵子編 高齢者をかかえる家族の葛藤と心身の健康.金原出版,39-46.1986
- ・ 宗像恒次:「看護とコミュニケーション」南裕子編 医療の場のコミュニケーションと文化.金原出版,32-37.1986
- ・ Munakata.T: Japanese Attitudes toward Mental Health and Mental Health Care.T.S.Lebra and W.P.Lebra(eds), Japanese Culture and Behavior—Selected Readings, revised Edition, University of Hawaii Press,367-378.1986
- ・ Munakata.T: Socio-Cultural Factors of Japanese Attitudes toward Mental illness and Mental Health Delivery System. D.Y.H.Wu andK.Sonoda(eds) Modernization of East-Asian Medicine, East-West Center&Korean UNESCO,69-66.1986